



ジョイフル

VOL.13
2020.7.10 発行



ふかがわあきこ
深川 亜紀
半田営業所（豊明出張所）事務員

半田営業所（豊明出張所）の事務員である深川亜紀さんは、2012年に南星キャリアックス株式会社に入社しました。温かな職場の雰囲気の中、日々の業務に勤しんでいます。今回は、そんな深川さんに職場の方たちとの交流についてお話を伺いました。

— 現在のお仕事内容についてお聞かせください。また、業務の中で大変だった思い出はありますか。

今は、エースペイント様に関する事務処理とタンクローリーでの納品の際の立ち合いを行っています。入社当初は事務処理だけを行っていましたが、途中から先方のシステム変更に伴い、事務の仕事量が大幅に減ってしまいました。それまでは事務所で入荷してきた原料の査収を行っていましたが、変更以降は現場で直接査収ができるようになった。

りました。そこで、私も査収のお手伝いを外の現場で行うようになったのです。

それまでの内勤と異なり、外での作業は雨風や日差しが強い日もあり、大変だった記憶があります。そのときは辛かったですね。でも、職場の方たちがいろいろと気を遣ってくださって、とても有難かったです。覚えていません。今は日差しが強い夏の日など、タンクローリーで納品立ち合いする場合には、日傘がさせられるようになったので、だいぶ楽になりました。

— お仕事をする上で、思わず辞めたくなったような経験はありましたか。

だいぶ前の話になりますが、実は一度だけ退職を考えたときがあります。ある人と折り合いが悪く、職場にいるのが辛くなってしまったのです。

そこで、「人間関係で退職を考えている」と、職場で仲良くしている方に相談しました。すると、「辞めてはだめだよ。人間関係を理由にして辞めたら、別の会社でもきつと同じ理由で退職してしまうだろうから」と止めてくださったのです。確かにその通りだと思い、目が覚めた気がしました。人と人との付き合いはどこでもありますから、そこで逃げたらきつとこれからも逃げてしまいますよね。



その人の言葉に加え、落ち込んだときに励ましてくれる人もたくさんいたのが救いとなり、続けることができました。その後、折り合いが合わなかった相手の方は退職されたのですが、あのとき、周囲の方たちに助けていただいたことへの感謝の気持ちは、今でも忘れていません。

— 深川さんは、今の事務所の方たちとても良い関係を築いていらっしゃいますね。

普段は皆さん外に出ているらしいですが、休憩の折に事務所に戻ってこられたときにいろいろとお話をするのが、私自身とても楽しみな時間になっています。

私はどちらかというと人見知りなのですが、先輩社員である西さんや建山さん、そして私とほぼ同時期に入社した本庄さんたちには、特に良くしていただき、いつも気軽に声

— それでは最後に、今後の目標についてお聞かせください。

年に1回、女子社員研修というのが行われるのですが、その際に普段なかなかお会いできないほかの営業所の女子社員の方たちと親交を深めることができます。

そんな中で、会社や仲間のことを思い、何ができるのか一生懸命考えている人がとても多く、私自身たくさん刺激を受けています。ですの皆さん、私も目標をあげるならば、何か皆さんの助けになることをしたい。身体が動く限り、自分のできることを探し続けられるような、そんな考



えを持った女性になりたいと思っています。

深川さんの言葉からは、和気あいあいとした事務所の雰囲気がとてもよく伝わってきました。会社や仲間にも貢献したいという強い想いは、そうした働きやすい環境だからこそ生まれてくるのでしょう。